

名古屋ダルクニューズレター

Drug Addiction Rehabilitation Center

Drug 薬物 発行元 名古屋ダルク : 〒462 - 0825 名古屋市北区大曾根 1 丁目 16 番 6 号
Addiction 依存症 TEL 052-915-7284 (Fax 兼用)
Rehabilitation 回復 ホームページ「ももちゃんーねっと」
Center センター <http://www.wa.commufa.jp/~momochan/>
名古屋ダルク HP <http://nagoyadarc.jp/>



「ソロモン」

ダルク後援会代表 竹谷基

「何を食べ、何を飲もうかと、自分の生命のことを思い煩うな。…空の鳥を見よ。蒔くことも刈ることも、集めて倉に入れることもしない。しかも汝らの天の父がこれを養い給う。…また着る物について、何故思い煩うのか。野の百合がいかにして育つかをよく学べ。労苦せず、紡ぐこともしない。汝らに言う、栄光を極めたソロモンでさえこの花の一つほどにも身を装うことをしなかった。」(マタイ田川訳)

風薫る季節も瞬間に過ぎて行きました。残念ながら今年はきな臭くなりました。大自然は人間の生活に潤いを与えてくれますが、人間は蛮行を繰り返すのみなのではないでしょうか。約2千年前に生きたナザレのイエスは冒頭の言葉を残しました。彼の生地パレスティナのガリラヤ地方は有史以来、何度も大国から侵略され続けました。イエス生存時はローマ帝国の支配下にありました。その前はアレキサンダー大王、ペルシャ、バビロニア、アッシリア帝国と遡ります。その理由の第一は、ガリラヤがパレスティナ唯一の雨の降る大穀倉地帯だったからです。従って、帝国とエルサレムの支配者からの圧政下ガリラヤの民衆は奴隷状態、飢えと病気、負債と律法に押し潰されていました。そんなガリラヤにあってイエスは上記の言葉を発したのです。奇妙ではないでしょうか、イエスの眼前に飢えと病気でバタバタと倒れる人々のいるにもかかわらずそんな発言が飛び出すのは。しかし、同時にイエスに映るガリラヤの大自然は圧倒的恵みを与えているのです。つまり、十分な恵みが与えられているのに、飢えた人々を生み出している一握りの強欲な人間たちへの怒りを含んだ発言なのではないでしょうか。

さて、そのイエスの言葉に「ソロモン」の名前があります。ソロモンは古代イスラエル王国の二代目の王になったと言われます。(参照:列王記上1~11章)彼は知恵に恵まれ(大岡裁きに似た逸話があります)、エジプトやメソポタミアの大国の衰退の間隙をぬい官僚制と軍事力の増大によりイスラエルの版図を拡げて帝国とし、大宮殿、大神殿の建立、富と繁栄をもたらし、世界中からその知恵を求めに訪れたと聖書は記します。しかし、その光りの面と対照的な闇の面をも記しています。即ち、ソロモン王はイスラエルの神ヤハウェに背き異国の神バアルに膝を屈め礼拝したと言う。ヤハウェ神は『人は平等である』を最高の価値とし人はその指針に従うとヤハウェ神に約束しました。何故なら、古代イスラエル人の祖先ヘブライの民は王政の奴隷としてしか生きられなかった難民たちでした。やがて彼らはパレスティナへ侵入し定着し、神ヤハウェを旗印に自由で平等な部族連合体を結成したのです。パレスティナは99%バアル宗教でした。バアル神は「豊かさ」「力」を価値とし、95%の下層民は奴隷にされていました。富と権力を求めたソロモンは王位を異母兄弟たちの皆殺しによって手に入れ、この世の栄華を極めたのです。元々、ヘブライの民は奴隷としての苦しみを

体験していたため、人が従うのは「王」ではなく「神ヤハウエ」のみであるとの確信から「王制」には批判的でした。(参照:サムエル記上8・10~18)が、他国からの度々の侵略に民の生命と財産を守るため、ついにやむなく、常備軍を持つ王制に移行しました。案の定、ソロモン以下歴代の王たちは民を奴隷にしたのです。

イエスは栄華を極めたソロモンではなく、神の下では空の鳥、野の百合は養われ、装われる神の慈しみに驚嘆しています。いと小さき命を大切にされる神の計らいに感謝し人は応えて生きるべきではないかと権力者たちに回心を勧めたのでした。神は互いが生かし合うようにと秩序を創られました。人間は、野の鳥、野の百合と互いに生かし生かされる世界を保護し管理する使命を神から与えられました(参照:創世記2章)。他方、ソロモン王は力づくで富、食糧を独占し、民の飢えの上に栄華を手に入れたのでした。イエスは言います、「あなた達にあつて大きい者となりたい者はあなた達に仕える者となり、あなた達にあつて第一者となりたい者は万人の奴隷となるがよい。」(参照:マルコ10・42~44 田川 訳)

現在の世界の指導者たちがそのイエスの言葉に耳を傾けるなら風薫る季節を楽しめるのではないだろうか。

ダルクは依存症者の仲間、同伴者です。多くの依存症者と回復への道を歩いています。どうか、みなさま、引き続きご理解・協力くださいますよう、お願いいたします。



「この世界で幸福を感じるとは？」

名古屋ダルク理事長 柴真也

特にここ 2,3 年私たちに伝わるニュースは、辛いものばかりです。お先真つ暗な気分になります。戦争、疫病、バツタの大群、災害、貧困、失業、少子化、円安、、、

では、どうなれば幸せだと感じられるのか？収入が安定する仕事があること？それとも預貯金の額でしょうか？良い家や車を所有していること？欲求が満たされたとき？

しかし、どれもじっくりきません。安全や安定、安心は生きてる間は必要性を感じるものかもしれませんが、この身体は借りものですから、いつか召されるときがきます。経験以外の富も所有物も持つてはいけません。

少なくとも私は、人と競い合うことではないと思います。一人で過ごしてる時間だって、とても穏やかで満たされた気分になれるし、気の合う人と食事をする、笑って過ごす。そんな幸せもあります。

過去も未来も世界情勢もネガティブに考えすぎない方が良くもありませんね。それより自分自身が幸せに過ごせるよう行動したり休んだりしたらいい。

幸せとは自分の中に在る状態で、外の世界や他者からの一方的な要求や評価、ネガティブな悪影響を避けつつ、自己肯定感を高めていけばよいですね。

基本的に幸せとは自身で感じとればいい。美味しい食事は友と分かち合えばいい。幸せに焦点を当てて過ごしていきたいものです。

幸せと笑顔を持っていきましょう。

「多治見修道院畑プログラム」

スタッフ 村瀬 光幸

この度は、多治見修道院さんの方で畑をお借りして、畑で野菜などを作らせて貰っています。最初の頃は、何にも分からず畑の土を耕す事から、初めて何回か多治見修道院の方に足を運びながら、教会に関わっている人や修道院の畑を借りている人たちに、聞きながら指導を受け、耕運機を借りて畑の土を耕す事からやり、皆で月に何回か修道院の畑に行き、草むしりや水や肥料を上げたりしながら、収穫を楽しみにしての先生と打ち合わせを何回かして、わからない事はノートに書いたり、メモを取ったりしながら畑リーダーを作って、そのリーダーと畑に行く前に打ち合わせしながら、作る野菜は季節ごとに野菜を植えたりしています。前回、チューリップは球根から玉ネギは苗を買って来て、植えて、玉ネギは6月頃に収穫予定で、今回はジャガイモや春ダイコン、人参のタネをまいて、ジャガイモや春ダイコンは芽が出て来ています。今後は、夏野菜を作りたいので、ダルクの人達にアンケートを取りながら夏野菜を作ります。目標は1年を通し、野菜を皆で作りたいです。畑の先生や教会の方には凄くお世話になっていますし、感謝をしています。

「人生を変えたい人へ」

名古屋ダルクでは、依存症への偏見を減らすため、SNS・ブログ・ラジオを通して依存症の問題を社会へ情報発信しています。
ぜひ私たちと繋がってください。
一緒に、自信を持って自分らしく生きていきましょう。

ブログ



Facebook



Spotify (ラジオ)



ダルクの仲間達



🍀 スタッフ研修 ミツヤ

依存症のミツヤです。1月から、スタッフ研修に入ったのですが、先ゆく仲間に『スタッフやってみない?』と言われたのが、仲間にぶん殴られた次の日でした。病院での待ち時間にこれからのことを相談していたのですが…まさかこのタイミングで言われるとは!!正直、『今、言うの!!』って感じでした。その時は、逃げましたね。かっこ悪くてやってらんねーよってのが僕の本音でした。その後、流された感じもあるけど、僕は何かの役に立つ事をした方がいいんじゃないかとプログラムを続ける中で思う様になりました。そうやって生きてみたい気持ちがあり、人の役に立とうと思い、スタッフになる事を決めました。自分の経験が誰かの役に立つのなら頑張ってみようと思い、今に至ります。最初は、ブログの打ち込み、予定の連絡などから、少しずつ仕事が増えていきました。以前は、スタッフにあーでもない、こーでもないと言っていたのですが…自分がその立場になってみると、メチャクチャ大変じゃん!あの頃、細かい事をグズグズ言ってゴメンなさい!今はこんな気持ちです。自分のした事は、返ってくるのだと身にしみて感じています。でも今は、充実しています。毎日、忙しくて、覚えることもたくさんあって、嫌になる時もあるのだけど、全てを薬で誤魔化して生きていた時とは違い、ちゃんと生きている感じがする。僕は臆病な人間で他人に何かを伝える事が未だに苦手です。それでも仲間の回復を思い、伝えます。昔の生き方なら、逃げてきた事も今は勇気を持って伝えていく。それが、自分の神に委ねた生き方だし、背を向けると昔に戻ってしまう。また苦しくなってしまう。だから僕は自分が楽に生きていく為に、満たされた生き方をしていく為に、スタッフとして頑張っていきます。仲間たちに感謝。ありがとうございました。

🍀 回復を信じて コウスケ

依存症のコウスケです。私は、アルコール依存症と自覚してから、一年程が経ちます。過去に精神病院で入退院を続け、お酒が薬だとすら思っていて、こんなに大変な病気だとは思っていませんでした。ですが病状は悪くなる一方で包丁を眺めたり、他人様を殴ったり、物を壊し、家族までも壊すといった事をしていましたが、酔っていて、あまり記憶がありません。姉から名古屋ダルクの入所を勧められましたが、ずっと酔っていたので何の理解もすることも無く、知らないうちにダルクにいました。徐々にダルクの生活にも慣れてきましたが、私には気がかりな事があって、妻は外国人で日本語の読み書きもままならず、子供達 3 人の入園、入学も重なり、妻の心境も考えると心配で辛い時も多くありました。私は思い切って施設を出ることを決心しました。家族の元へ戻り、優しく接するつもりが自分の生き辛さから連続飲酒、怒り、暴力、大爆発といった日々もあり、もはや妻には共依存、娘にはアダルトチルドレンの傾向もあって、取り返しのつかない事をしてしまったと今でも悔やんでいます。私は妻を傷つけてしまい、留置場に入り、考えた結果、家族が大切なら家には帰らずに、まず自分の病気を治す事が優先だとやっと気付いて、もう一度ダルクに戻る事を決心しました。これからダルクでの生活が始まり、苦しい時、悲しい時、色々な思いで壁に当たり、悩むことだと思います。今までの生き方、考え方を切り替えて、これからどう生きていけばいいのか探しながら、ゆっくりと考えていきます。私が今ダルクに居れるのも、施設の方から頂いた妻からの小さな紙で「ガンバッテネ、ズットマッテイマス」と英語で書いてあって、何よりも有り難くて、とても勇気を貰いました。自分の弱い心に負けそうな時は、家族の笑顔の思い浮かべて、愛する妻と子供達の為に優しいお父さんに戻る事を信じて、ダルクでの回復に生活を仲間と共に学んでいく所存でございます。

✿ チムドンドン リュウドウ

依存症の龍堂です。僕が名古屋ダルクに繋がって、一年半が経ちました。初めは想像も出来なかった自分自身がクリーンで過ごすという事を、仲間の輪の中で日々踏んで行ける事が出来ているのが嘘のようです。一日一日少しずつだけれども、心を開いていく事が出来ているのか、前のような孤独感も感じる事も少なくなってきたし、寂しさ、虚しさで心に穴が空いた様な感覚もプログラムを受けたり、ミーティングで話す事、仲間の話を聞く事で共感や気付きを得る事で少しずつ感じれるようになったし、何より今は、ステップ 4 に取り組んでいる最中なので、それに向き合う事も日々行っています。まだ正直、自分でわかる変化は少ないです。大きな変化といえば、見た目が体重の減少で変わった事、先行く仲間の真似をしていたら運動が好きになった事、自分が変わらなければ生きづらさは解消されないと気付き、少しずつ変えていこうと思える様になった事、ダルクが少し好きになってきている事位です。勿論、他の変化も仲間達から教えてもらって気づかされる事も多々あります。大麻大好き、お酒大好き、仕事大好きで家族の心配、迷惑を考えず傷つけ続け、好きな事を好きな様に好きな時にやっているつもりが、自分自身も傷つけまくっていました。今も、大事な二つの宝物は、ある日突然、父親がいなくなって寂しい思いをし続けているかもしれません。正直、許されるのであればすぐにも会いたいです。でも今は、自分自身の為にダルクに居続ける事を自分で選択して、しっかりと段階を踏んで、許されるタイミングを待ってプログラムに取り組んでいきます。たまに、自分がこれからどれだけ良くなっていけるか妄想が入るとチムドンドンします。故郷の沖縄に帰って本当に大好きだったオバーの墓に息子達と線香上げにと埋め合わせ出来る日を夢見て信じていきます。

✿ 最後のニューズレター クチナシ

これが最後のニューズレターになることを決意し、筆をとります。薬物依存のクチナシです。

繋がって早六年の月日を経ました。良いこと、辛いこと、悲しいこと、寂しいこと等、沢山の経験をさせてもらいました。悲しいかな言えるのは、自分の成長はあまり感じられないことです。しかし、少しずつ成長を感じさせてもらえる部分もあります。クリーンを継続させてもらえてること、仕事に就けたこと、今現在ダルクの費用を自分で払えていること、こう具体的にしてみると自分でも「変わったなあ」と思えるところもあります。ただ、自分自身の生き方の根っこが変わったとは思えないところが、自分の欠点なのでしょうか。

ただ眠らせていた感情は、少しずつ動くようになってきました。繋がるまで嬉しいことで泣いたことがなかったのに、嬉しいことで泣けるようになりました。悲しいときだったりでは泣いてはきましたが、嬉しいことで泣いたのは繋がってからの人生初でした。仲間のバースデイ、家族が集まった日、仲間の仮免許式、ボロ泣きました。

以前は人前で泣くことは「恥」だと思っていましたが、今はそこまで抵抗はないです。

今日から本格的に部屋探しを始めました。携帯のアプリ等で漠然と見てたりしてましたが、人生で初めて不動産屋に赴きました。初めてのことに緊張するのは変わりません。恥ずかしい話ですが、繋がるまでほとんどのことを親にやってもらっていました。一人暮らしなんて、繋がるまで考えた事さえありません。ずっと親の世話になろうとしてました(ダルクの入寮費は途中まで払ってもらっていただきましたが…)。今では感謝をしてもきれないです。そして、妹が結婚するという事で素直に嬉しいです。きっとまた泣くのでしょう。ただただ幸せになって欲しいと思うばかりです。

献金件数 (ナイトケアハウス・ホープ)

2 月	1 件	3,000 円
3 月	2 件	8,000 円
4 月	1 件	3,000 円
計	4 件	14,000 円

献金者御氏名 (令和 4 年 2 月～4 月)

匿名希望の方々

いつもお支え下さる皆様、ダルクの活動資金として有難く使わせて頂きます。



郵便振替口座番号:00800-4-133522

加入者名 :名古屋ダルクナイトケアハウス基金

・・・名古屋ダルク後援会 ご寄付のお願い・・・

名古屋ダルクの活動をどうぞお支えください。回復のために使わせていただきます。

振り込み先(郵便局) 口座番号00800-1-66786

加入者名 ダルク後援会

発送作業の簡略化のため、すべての方に振替用紙を同封させていただいておりますことをご了解ください。

☆ 贖罪寄付を受け付けています。必要な方は名古屋ダルクまでご連絡ください。



編集後記

薬やお酒で体力をなくし不健康な生活をしていた人たちが、マラソンや山登りに挑戦しています。健全な身体に健全な心が宿る、本当にその通りですね。頑張ってる姿、達成した時の笑顔は何とも言えません。成功体験を積み重ね、回復・成長していきます。皆様の温かいご支援のおかげと感謝しています。河合

《発行所》 東海身体障害者定期刊行物協会 定価 100 円

〒460-0002 名古屋市中区丸の内 3-6-43 みこころセンター4F

《発行日》 2022 年 6 月 21 日 火曜日

《編集》 名古屋ダルク後援会 〒461-0004 名古屋市東区葵2-6-29 カトリック福信館